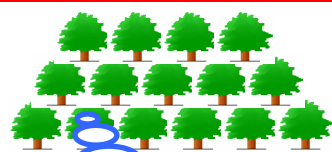
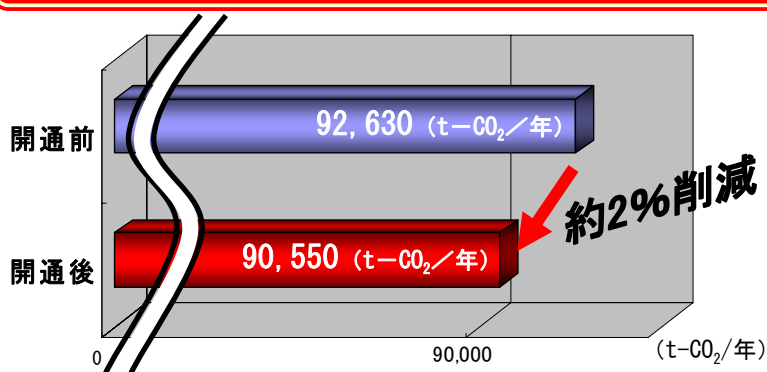


整備効果③：交通の円滑化により環境が改善！

- 周辺道路の交通量減少にともなう交通の円滑化により、**CO₂の削減量が約2,080t-CO₂/年（約2%削減）**となり、環境改善効果が確認できました。

注）「国土技術政策総合研究所資料」に基づき試算

●二酸化炭素(CO₂)：約2,080t-CO₂/年削減「約2%削減」（森林面積約196ha分）

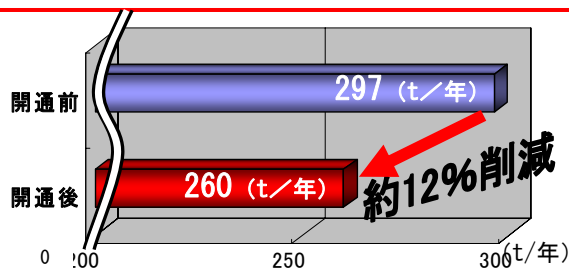


森林面積約196haの
二酸化炭素吸収量に
相当！

森林の二酸化炭素吸収量は10.6 t-CO₂/ha・年として換算。
出典：「土地利用、土地利用変化及び林業に関するグッド・プラクティス・ガイダンス(優良手法指針)」より



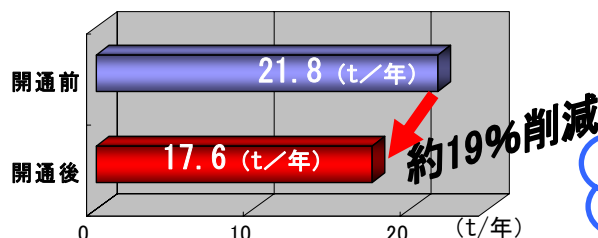
●窒素酸化物(NO_x)：約36t/年削減「約12%削減」(大型観光バス約171台分の体積に相当)



大型観光バス
約171台分の
体積に相当！

・NO_xは1g=523mlとして換算。(1t=523m³)
出典：「道路環境影響評価の技術手法(その1)」
・大型観光バス1台あたり約110m³として換算。

●浮遊粒子状物質(SPM)：約4.2t/年削減「約19%削減」(ペットボトル約42,000本分)



1年間で500ml
ペットボトル
約42,000本に
相当！

500ml ペットボトル1本は
SPM約100gとして換算。

開通前の調査日：平成17年10月～11月
開通後の調査日：平成18年2月
※調査内容：交通量、旅行速度



【評価対象路線】

凡例 —：評価対象路線
※青および赤の路線のみを
評価の対象としています。